

令和3年9月29日
厚生労働省

「国民生活基礎調査に係る匿名データの作成について（諮問）」（諮問第148号）
の誤りについて

1 問題の所在

「平成28年国民生活基礎調査」の匿名データを作成するに当たり、統計法第35条第2項に基づき、令和3年1月27日に統計委員会への諮問を行ったが、当該諮問の資料のうち「国民生活基礎調査に係る匿名データの審査表」（※）に誤りがあった。

（※）匿名データの作成に係る諮問を行う場合、匿名化処理基準とは異なる処理を行う提供項目及びその理由を審査表に記載している。

2 誤りの内容等

(1) 内容

国民生活基礎調査の匿名データでは、これまで及び匿名化処理基準では世帯票のうち同居していない者の人数（質問2）について、施設入所者と長期入院者を統合して「入院・入所」とし、検証（その度数分布の確認）の上で、「2人以上でリコーディング」¹することとしていた。

これについて、平成28年調査の匿名データでは、「2人以上でリコーディング」せず、そのままの人数で提供することとした。（審査表において平成28年調査の匿名データでの匿名化のしかたを記載する「平成28年（追加年次）」欄には、「「入院・入所」は2人以上でリコーディング」は記載しなかった）。

これは、事前検証の際、「入院・入所」が3人以上となるケースはないと考えたことによるもので、「変更理由・備考」欄にもその旨を記載したが、実際には「入院・入所」により同居していない者が3人いる世帯が5世帯存在することを確認した。

なお、平成28年調査の匿名データは、現在作成中であり、外部への提供は行っていない。

(審査表の抜粋)

統計調査名	国民生活基礎調査		
匿名化処理の内容	匿名化処理基準	平成28年 (追加年次)	変更理由・備考
同居していない者の状況	▲ 老人福祉施設入所者、社会福祉施設入所者、長期入院者を統合「入院・入所」は2人以上でリコーディング「単身赴任」「学業」は3人以上でリコーディング	▲ 老人福祉施設入所者、障害者支援施設入所者、その他の社会福祉施設入所者、長期入院者を統合。「学業」は3人以上でリコーディング	学業以外、3人以上はいないため、そのまま提供

¹ 3名以上となる世帯が少数であるため、識別リスクを勘案し、2人以上をまとめて同一のコードとするもの。

(2) 原因

審査表の作成に当たっては、提供する項目の度数分布表により確認することが必要である。このため、施設入所者（3区分）と長期入院者（1区分）をまとめた「入院・入所」の度数分布を確認する必要があった。

しかし、施設入所者（3区分）別と長期入院者（1区分）について、それぞれの区分の度数分布を確認した際に、3人以上の世帯がなかったため、これらをまとめた「入院・入所」においても3人以上となるケースは無いものと誤解し、その確認を行わなかったもの。

なお、当該項目は平成28年に調査の変更を実施し、施設入所者の区分は2区分から3区分に変更されており、それに伴う統合項目の変更についての確認が不十分であった。

3 対応

審査表については、以下の通り変更を行うこととしたい。

- ・ 「同居していない者の状況」に係る「平成28年（追加年次）」欄に、「「入院・入所」は、2人以上でリコーディング。」を追加
- ・ 同じく「変更理由・備考」欄について、「学業以外、3人以上はいないためそのまま提供」としていたが、実際には「学業」の他「入院・入所」に3人の世帯があり、「単身赴任」のみ3人以上の世帯がないため、これを「単身赴任は、3人以上はいないため、そのまま提供」に変更

(変更案)

統計調査名	国民生活基礎調査			
匿名化処理の内容	匿名化処理基準		平成28年（追加年次）	
			変更理由・備考	
同居していない者の状況	▲	老人福祉施設入所者、社会福祉施設入所者、長期入院者を統合「入院・入所」は2人以上でリコーディング「 <u>単身赴任</u> 」は3人以上でリコーディング	▲	老人福祉施設入所者、障害者支援施設入所者、その他の社会福祉施設入所者、長期入院者を統合。「 <u>入院・入所</u> 」は2人以上でリコーディング。「 <u>学業</u> 」は3人以上でリコーディング。 「 <u>単身赴任</u> 」は、3人以上はいないため、そのまま提供

なお、今後の匿名データの作成に当たっては、度数分布作成プログラムについて、統合された項目の度数分布を作成するよう修正し、併せて統合後の度数分布については、重要な確認事項である旨を度数分布表作成プログラム更新時の参考資料として作成する「調査情報提供項目比較表」（年次比較で調査項目毎の状況を把握する資料）に記入する。また、調査の変更に伴い変更が必要な確認事項について、漏れが生じないように十分に留意し、複数の者で確認をすることとする。

調査員記入欄

地区番号					単 位 区 番 号				世帯番号			
------	--	--	--	--	-----------	--	--	--	------	--	--	--

この調査は、統計法に基づき国が実施する基幹統計調査です。
調査票情報の秘密の保護に万全を期していますので、ありのままを記入してください。

〈記入上の注意〉

- ・『(世帯票・健康票)記入のしかた』をよくお読みになってから記入してください。
- ・もし記入方法がわからなかった場合は、調査員が受け取りにうかがったときにおたずねください。
- ・選択肢は指示がない場合は、あてはまる番号1つに○をつけてください。
- ・数字は右づめで記入してください。
- ・できるだけ黒のボールペンで記入してください。

あなたの世帯について、平成28年6月2日現在の状況をお答えください。

- ・世帯とは、ふだん住居と生計を共にしている人々(世帯員)の集まりをいいます。
 - ・世帯員には、旅行や出張などで一時的(3か月以内)に自宅を離れている人や船員など就業場所を移動する人も含まれます。
- また、病院に入院している人も含まれますが、住民登録を病院に移している人は除きます。さらに、単身赴任や学業で世帯を離れている人、老人福祉施設などの社会福祉施設に入所している人も除きます。

I 世帯の状況

質問1 ふだん一緒にお住まいで、生計を共にしている方(世帯員)は、あなたを含めて何人ですか。
(一時的に不在の方を含みます。)

<input type="text"/>	人
----------------------	---

1人(単独世帯)の場合は、補問1-1にもお答えください。

補問1-1 1人(単独世帯)の方の場合は、その状況についてお答えください。

【単独世帯の状況】

- 1 住み込み、寄宿舍等に居住する単独世帯
- 2 その他の単独世帯

【単身赴任か否か】

- 1 単身赴任者である
- 2 単身赴任者でない

質問2 現在は、単身赴任などで世帯を離れているが、その前は、一緒にお住まいで生計を共にしていた方がいる場合は、あてはまるすべての番号に○をつけ、それぞれの人数を記入してください(いない場合は、7に○をつけてください。)

- 1 単身赴任で世帯を離れている者がいる → 人
- 2 学業のため世帯を離れている者がいる → 人
- 社会福祉施設に入所している者がいる
 - 3 老人福祉施設に入所している者がいる → 人
 - 4 障害者支援施設に入所している者がいる → 人
 - 5 3,4以外の社会福祉施設に入所している者がいる → 人
- 6 病院に長期入院している(住民登録を病院に移している。)者がいる → 人
- 7 1~6の者はいない

※ 1~6に該当する方は、この調査の世帯員とはなりませんので、質問1の人数には含めなくてください。

裏面に続きます。